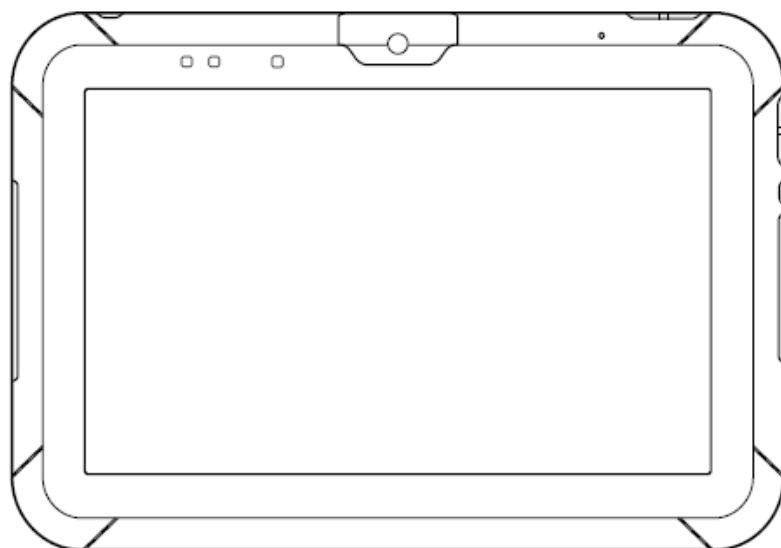


System ライブラリマニュアル

このマニュアルは、System ライブラリの仕様について記載します。



Google™、Googleロゴ、Android™、AndroidロゴはGoogle, Inc.の商標または登録商標です。

その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

ご注意

- このソフトウェアおよびマニュアルの、一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。
- このマニュアルの著作権はカシオ計算機株式会社に帰属します。
- 本書中に含まれている画面表示は、実際の画面とは若干異なる場合があります。予めご了承ください。

目次

1.	概要	1
1.1	概要	1
1.2	動作環境	1
1.2.1	対象機種	1
1.2.2	対象OS	1
1.2.3	プログラミング言語	1
1.2.4	必要なシステム	1
1.2.5	必要なソフトウェア	2
2.	ライブラリ	3
2.1	Package名称	3
2.2	関数一覧	3
2.2.1	Api	4
2.2.2	getModelName	5
2.2.3	getModelNameString	6
2.2.4	setDistributerID	7
2.2.5	verifyDistributerID	8
2.2.6	getDeviceID	9
2.2.7	setCradleID	10
2.2.8	getCradleID	11
2.2.9	getOperationModeSwitchState	12
2.2.10	setWakeOnMagneticSensor	13
2.2.11	getWakeOnMagneticSensor	14
2.2.12	setEcoCharge	15
2.2.13	getEcoCharge	16
2.2.14	setCradleIP	17
2.2.15	getCradleIP	19
2.2.16	setCradleIPSettings	20
2.2.17	getCradleIPSettings	21
2.2.18	setSDCardCoverDetection	22
2.2.19	getSDCardCoverDetection	23

1. 概要

1.1 概要

System Library は、V-T500/V-N500 独自のデバイスを制御するためのライブラリです。
Android SDK の Add-on として提供されます。

1.2 動作環境

1.2.1 対象機種

V-T500/V-N500

1.2.2 対象OS

Android 4.0 (API level 15)

1.2.3 プログラミング言語

Java (JDK コンパイラ準拠レベル 16)

1.2.4 必要なシステム

開発環境に必要なシステムにつきましては、ファーストステップガイドをご参照下さい。

1.2.5 必要なソフトウェア

以下のソフトウェアが必須となります。

- Java SE Development Kit 6u31
- Eclipse 3.7 (Indigo)
- Android SDK r18
- ADT Plugin for Eclipse 15.0.0 以上

2. ライブラリ

2.1 Package名称

jp.casio.vx.framework.system

2.2 関数一覧

関数名	権限※	機能
Api		コンストラクタ
getModelName		モデル名を取得します
getModelNameString		モデル名を文字列で取得します
setDistributerID		代理店 ID を設定します
verifyDistributerID		代理店 ID を照合します
getDeviceID		デバイス ID を取得します
setCradleID	CNS,ANS	クレードル ID を設定します
getCradleID	CNS,ANS	クレードル ID を取得します
getOperationModeSwitchState		運用モードを取得します
setWakeOnMagneticSensor	WS	磁気センサによる端末起動の有効/無効を設定します
getWakeOnMagneticSensor	WS	磁気センサによる端末起動の有効/無効を取得します
setEcoCharge		Eco-Charge の有効/無効を設定します
getEcoCharge		Eco-Charge の有効/無効を取得します
setCradleIP	CNS,ANS	クレードルの IP 情報を設定します。
getCradleIP	CNS,ANS	クレードルの IP 情報を取得します。
setCradleIPSettings	WS	クレードルの IP 情報の設定可否を設定します。
getCradleIPSettings	WS	クレードルの IP 情報の設定可否を取得します。
setSDCardCoverDetection	WS	SD カードカバー状態検出の可否を設定します。
getSDCardCoverDetection	WS	SD カードカバー状態検出の可否を取得します。

※これらの関数を使用する場合は、アプリケーションの AndroidManifest.xml 内の uses-permission に、以下の権限を追加してください。

権限名	略称
android.permission.WRITE_SETTINGS	WS
android.permission.CHANGE_NETWORK_STATE	CNS
android.permission.ACCESS_NETWORK_STATE	ANS

2.2.1 Api

System ライブラリオブジェクトを構築します。

```
public void Api (  
    Context context  
)
```

解説

本関数は System ライブラリのコンストラクタです。System ライブラリオブジェクトを構築します。

パラメータ

context

呼び出し側の Context オブジェクトを渡します。省略した場合、全ての関数がエミュレーター上と同じ動作となります。

戻り値

なし

例外

なし

補足

エミュレーター上では、本関数は全てのパラメータチェックのみを行います。いずれかのパラメーターが 0 以下であれば戻り値は **false**、それ以外は **true** となります。

2.2.2 getModelName

本関数はアプリケーションから端末を識別するために、端末のモデル名を取得します。

```
public int getModelName ()
```

解説

端末のモデル名を取得します。

パラメータ

なし

戻り値

正常終了時に以下の値を返します。

0	: V-T500
1	: V-N500

それ以外の場合は-1を返します。

例外

関数未サポート時に以下の例外を投げます。

FunctionNotFoundException

補足

エミュレーター上では、本関数の戻り値は常に0となります。

2.2.3 getModelNameString

本関数はアプリケーションから端末を識別するために、端末のモデル名を文字列で取得します。

```
public String getModelNameString ()
```

解説

端末のモデル名を文字列で取得します。

パラメータ

なし

戻り値

モデル名を返します。
エラー時は `null` を返します。

例外

関数未サポート時に以下の例外を投げます。
`FunctionNotFoundException`

補足

エミュレーター上では、本関数の戻り値は常に”V-T500”となります。

2.2.4 setDistributerID

本関数はアプリケーションを開発した代理店を識別するための代理店 ID を設定します。

```
public boolean setDistributerID (  
    String newDistributerID,  
    String oldDistributerID  
)
```

解説

代理店 ID を設定します。

パラメータ

newDistributerID

新しい代理店 ID を指定します。

oldDistributerID

古い代理店 ID を指定します。

本 ID に誤りがある場合はエラーを返します。

戻り値

以下の値を返します。

true	: 成功
false	: 失敗

例外

関数未サポート時に以下の例外を投げます。

FunctionNotFoundException

補足

エミュレーター上では、本関数はエミュレートされた代理店 ID にアクセスします。エミュレートされた代理店 ID の初期値は" 00 "です。

2.2.5 verifyDistributerID

本関数はアプリケーションを開発した代理店を識別するために、代理店 ID を照合します。

```
public boolean verifyDistributerID (  
    String distributerID  
)
```

解説

代理店 ID を照合します。

パラメータ

distributerID

代理店 ID を指定します。

戻り値

以下の値を返します。

true	: 成功
false	: 失敗

例外

関数未サポート時に以下の例外を投げます。

FunctionNotFoundException

補足

2.2.6 getDeviceID

本関数は端末を識別するために、デバイス ID を取得します。

```
public String getDeviceID ()
```

解説

デバイス ID を取得します。

パラメータ

なし

戻り値

デバイス ID を返します。
エラー時は null を返します。

例外

関数未サポート時に以下の例外を投げます。
FunctionNotFoundException

補足

2.2.7 setCradleID

本関数は接続中のクレードルを識別するためのクレードル ID を設定します。

```
public boolean setCradleID (  
    int cradleID  
)
```

解説

端末が接続しているクレードル ID を設定します。

パラメータ

cradleID

クレードル ID を指定します (0~255)。

戻り値

以下の値を返します。

true	: 成功
false	: 失敗

例外

関数未サポート時に以下の例外を投げます。

FunctionNotFoundException

補足

エミュレーター上では、本関数は全てのパラメータチェックのみを行います。パラメーターが-1 以下もしくは 256 以上であれば戻り値は false、それ以外は true となります。

2.2.8 getCradleID

本関数は接続中のクレードルを識別するために、クレードル ID を取得します。

```
public int getCradleID ()
```

解説

端末が接続しているクレードル ID を取得します。

パラメータ

なし

戻り値

クレードル ID を返します(0~255)。
エラー時は-1 を返します。

例外

関数未サポート時に以下の例外を投げます。
FunctionNotFoundException

補足

2.2.9 getOperationModeSwitchState

本関数はアプリケーションの運用モードを切り替えるために、運用モードスイッチの設定状態を取得します。

```
int getOperationModeSwitchState (  
    Context context  
)
```

解説

運用モードスイッチの状態を取得する。

パラメータ

context

呼び出し側の **Context** オブジェクトを渡します。

戻り値

正常終了時に以下の値を返します。

0	: 通常モード
1	: お客様モード

例外

関数未サポート時に以下の例外を投げます。

FunctionNotFoundException

補足

エミュレーター上では、戻り値は常に 0 となります。

2.2.10 setWakeOnMagneticSensor

本関数は磁気センサによる端末レジュームの有効/無効を設定します。

```
boolean setWakeOnMagneticSensor (  
    Context context,  
    boolean isEnabled  
)
```

解説

磁気センサによる端末レジュームの有効/無効を設定します。

パラメータ

context

呼び出し側の Context オブジェクトを渡します。

isEnabled

磁気センサによる端末起動の有効/無効を設定します。

true	: 有効
false	: 無効

戻り値

以下の値を返します。

true	: 成功
false	: 失敗

例外

関数未サポート時に以下の例外を投げます。

FunctionNotFoundException

補足

エミュレーター上では、戻り値は常に true となります。

2.2.11 getWakeOnMagneticSensor

本関数は磁気センサによる端末レジュームの有効/無効を取得します。

```
boolean getWakeOnMagneticSensor (  
    Context context  
)
```

解説

磁気センサによる端末レジュームの有効/無効を取得します。

パラメータ

context

呼び出し側の Context オブジェクトを渡します。

戻り値

以下の値を返します。

true	: 有効
false	: 無効

例外

関数未サポート時に以下の例外を投げます。

FunctionNotFoundException

補足

2.2.12 setEcoCharge

本関数は Eco-Charge の有効/無効を設定します。

```
boolean setEcoCharge (  
    boolean isEnabled  
)
```

解説

Eco-Charge の有効/無効を設定します。

パラメータ

isEnabled

Eco-Charge の有効/無効を設定します。

true	: 有効
false	: 無効

戻り値

以下の値を返します。

true	: 成功
false	: 失敗

例外

関数未サポート時に以下の例外を投げます。

FunctionNotFoundException

補足

エミュレーター上では、戻り値は常に TRUE となります。

2.2.13 getEcoCharge

本関数は Eco-Charge の有効/無効を取得します。

```
boolean getEcoCharge ()
```

解説

Eco-Charge の有効/無効を取得します。

パラメータ

なし

戻り値

以下の値を返します。

true	: 有効
false	: 無効

例外

関数未サポート時に以下の例外を投げます。

`FunctionNotFoundException`

2.2.14 setCradleIP

本関数はクレードルの IP 情報を設定します。

```
boolean setCradleIP (
    LanCradle cradle
)

public Class LanCradle {
    Private String IP;
    Private String SubNetMask;
    Private String DefaultGateway;

    Public void SetIP(String);
    Public String GetIP();
    Public void SetSubNetMask(String);
    Public String GetSubNetMask ();
    Public void SetDefaultGateway(String);
    Public String GetDefaultGateway ();
}
```

解説

クレードルの IP 情報を設定します。

パラメータ

LanCradle

setCradleIP/getCradleIP 共用の I/F クラスです。

IP

IP アドレスを指定します。

SubNetMask

サブネットマスクを指定します。

DefaultGateway

デフォルトゲートウェイを設定します。

戻り値

以下の値を返します。

TRUE	: 成功
FALSE	: 失敗

例外

関数未サポート時に以下の例外を投げます。

FunctionNotFoundException

補足

エミュレーター上では、本関数は仮想的なメモリ上に値を設定します。

2.2.15 getCradleIP

本関数はクレードルの IP 情報を取得します。

LanCradle getCradleIP ()

解説

クレードルの IP 情報を取得します。

パラメータ

なし

戻り値

LanCradle

setCradleIP を参照してください。

IP

IP アドレスを取得します。

SubNetMask

サブネットマスクを取得します。

DefaultGateway

デフォルトゲートウェイを取得します。

例外

関数未サポート時に以下の例外を投げます。

FunctionNotFoundException

補足

エミュレーター上では、本関数は仮想的なメモリ上に設定された値を返します。

2.2.16 setCradleIPSettings

本関数はクレードルへの IP 設定の有効/無効を設定します。

```
boolean setCradleIPSettings (  
    Context context,  
    boolean isEnabled  
)
```

解説

クレードルへの IP 情報設定の有効/無効を設定します。

パラメータ

context

呼び出し側の **Context** オブジェクトを渡します。

isEnabled

クレードルへの IP 設定の有効/無効を設定します。

TRUE	: 有効
FALSE	: 無効

戻り値

以下の値を返します。

TRUE	: 成功
FALSE	: 失敗

例外

関数未サポート時に以下の例外を投げます。

FunctionNotFoundException

補足

エミュレーター上では、本関数で有効/無効は設定できません。設定値は仮想的なメモリ上に設定されます。

2.2.17 getCradleIPSettings

本関数はクレードルへの IP 情報設定の有効/無効を取得します。

```
boolean getCradleIPSettings (  
    Context context  
)
```

解説

クレードルへの IP 設定の有効/無効を取得します。

パラメータ

context

呼び出し側の Context オブジェクトを渡します。

戻り値

以下の値を返します。

TRUE	: 有効
FALSE	: 無効

例外

関数未サポート時に以下の例外を投げます。

FunctionNotFoundException

補足

2.2.18 setSDCardCoverDetection

本関数は SD カードカバー検出の有効/無効を設定します。

```
boolean setSDCardCoverDetection (  
    Context context,  
    boolean isEnabled  
)
```

解説

SD カードカバー検出の有効/無効を設定します。

パラメータ

context

呼び出し側の **Context** オブジェクトを渡します。

isEnabled

SD カードカバー検出の有効/無効を設定します。

TRUE	: 有効
FALSE	: 無効

戻り値

以下の値を返します。

TRUE	: 成功
FALSE	: 失敗

例外

関数未サポート時に以下の例外を投げます。

FunctionNotFoundException

補足

エミュレーター上では、本関数で有効/無効は設定できません。設定値は仮想的なメモリ上に設定されます。

2.2.19 getSDCardCoverDetection

SD カードカバー検出の有効/無効を取得します。

```
boolean getSDCardCoverDetection (  
    Context context  
)
```

解説

SD カードカバー検出の有効/無効を取得します。

パラメータ

context

呼び出し側の **Context** オブジェクトを渡します。

戻り値

以下の値を返します。

TRUE : 有効

FALSE : 無効

例外

関数未サポート時に以下の例外を投げます。

FunctionNotFoundException

補足

カシオ計算機お問い合わせ窓口

製品に関する最新情報

- 製品サポートサイト（カシオペア・ハンディターミナル）

<http://casio.jp/support/ht/>

製品の取扱い方法のお問い合わせ

- 情報機器コールセンター



0570-022066

市内通話料でご利用いただけます。

携帯電話・PHS 等をご利用の場合、**042-503-7241**

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

TEL 03-5334-4637(代)